

# 吉野中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年10月25日(金)

**板井 晴輝さん**  
【社会福祉法人 新友会 ひまわり園】



**演題 福祉の仕事とは**

障がいを持った方の生活支援員をしている板井さん。障がい福祉を中心に福祉の仕事の説明をし、一日の流れや、実際にどういったことをしているのか詳しく話していました。

中学生のうちにやって欲しいことは「感性を豊かにすること」で「相手に共感や理解ができる人になり、物事をいろんな角度から見て考えることができるようになります」と感性の磨き方を説明しました。

「仕事内容も大事ですが、自分自身を見失わず、自分らしくやっていけるかどうか常に胸に置いておくと、悩んでもまた頑張ろうと前向きに考えられるようになります」と伝えました。生徒たちは集中して講演に耳を傾けていました。

**佐藤 快さん**  
【(株)三井E&S】



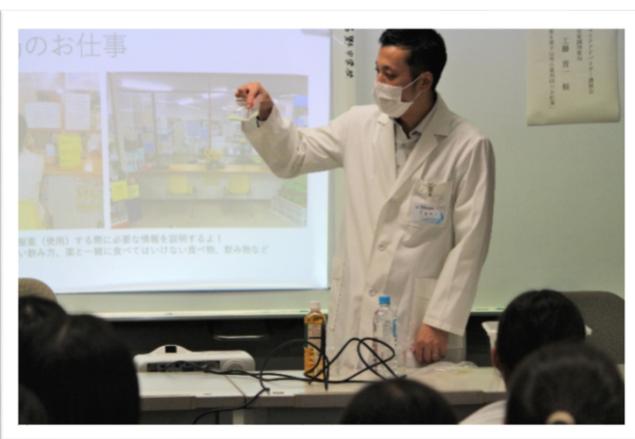
**演題 将来に向けてできること**

クレーンの品質、電気を流した動作確認など、お客様の仕様に調整する最終的な仕上げをしている佐藤さん。母校での講演です。仕事内容や、お客様からクレーンを受注し届けるまでの流れを説明しました。

クレーンが上手く動かないとき、明確な答えはないため、原因の特定から解決にもっていくと話しました。

生徒の皆さんに「家族、友人、学校、行事など今を大切にしてください。色々な経験をして知識を増やしましょう。まずは自分で考えてみましょう。思い出は大人になっても残ります。全力で勉強も遊びもがんばってください」と伝えました。生徒たちは目を見て話を聞いてくれて、質問もたくさんしてくれたので、講演がやりやすかったそうです。

**工藤 晋一さん**  
【安東調剤薬局】



**演題 薬を渡す以外の薬剤師のお仕事**

薬局の薬剤師をしている工藤さん。薬剤師になるまでの道のりや薬剤師の国家試験の日程、薬剤師の様々な働き方についてお話をしました。錠剤、貼り薬、軟膏、吸入器など実物を見せながら、薬の正しい使い方を説明したほか、鉄分のお薬にお茶を混ぜるとどうなるかという実験も行いました。

おすすめの勉強法は「自分に合った勉強方法を見つける。目標をたてる。厳しくしすぎないこと」。

社会人の先輩として、「自分の性格、好きなことなど自分を理解しましょう。選択肢を広げ、やりたい仕事を見つけるため色々な職業を調べましょう。勉強、スポーツ、趣味など今できることに挑戦しましょう」と伝えました。生徒たちはクイズなど積極的に参加してくれ、講演が楽しかったそうです。



1年生と2年生が希望制で3クラスに分かれて講演を聞きました。

# 南大分中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月5日(火)

**紺田 丈平さん**  
【(株)トキハ】



**演題** **好きな自分で働こう!!**

百貨店で婦人雑貨の販売員をしている紺田さん。自己紹介の後、仕事内容では楽しさや、やりがい、大変なことを話しました。インスタライブで商品紹介をしていることや、物産展の魅力を語りました。社員にしか分からない「百貨店の秘密」も話しました。

生徒の皆さんに「勉強、部活、何でもいいので一生懸命取り組んでみてください。実るかどうかは分かりませんが、その過程が為になります。今この時期に頑張ったことは大人になって頑張ったよかったです」と伝えました。明るいクラスで、講演が貴重な経験になったそうです。

**藤田 ひかるさん**  
【(株)テレビ大分】



**演題** **テレビの裏側、覗いてみませんか？**

テレビ大分の広報をしている藤田さん。母校での講演です。テレビ大分で放送する番組を決める編成などの仕事をしています。番組のタイムテーブルを配り、放送する番組を決めていく編成の仕事内容について説明をしました。

自分の中学時代の経験から「どんなことでもまずは挑戦してみましょう。1年生の時は人前に出るのが苦手でしたが、2年生から学級委員や執行部に挑戦し自信をつけることができました」、「自分の好きなことをたくさん見つけましょう。自分で自分を楽しませることができるようになり、余裕が生まれます」と伝えました。母校での講演は楽しかったそうです。

**秀平 拓海さん**  
【大分三菱自動車販売(株)】



**演題** **整備士のやりがいとは**

自動車整備士の秀平さん。会社や整備士の仕事をクイズ形式で紹介しました。生徒たちはグループワークでメカグルマの工作を行い、どの班が一番最初に作り終わるか、班員同士でお互いに助け合いながら競争をしました。

生徒の皆さんに整備士のイメージを聞いた後、「学生の間だけでなく、大人になっても資格を取ったり勉強することは続くので、勉強することは大事です」、「社会に出て人と関わっていくし、仕事はひとりでは出来ません。人との繋がりを大事にしてください。勉強はひとりではなく、いろんな人と勉強をした方がいいです」と伝えました。母校での講演でしたが、自分の中学時代と生徒たちの雰囲気が変わっておらず、元気だったそうです。

# 南大分中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月5日(火)

**小野 英里佳さん**  
【九州労働金庫】

**演題 中学生に伝えたいこと**



金融機関の窓口対応をしている小野さん。九州労働金庫は働く人のための金融機関であることや、質問を交えながら、仕事内容、やりがいなどを話しました。物価高の話や投資の説明のほか、練習用の札束で扇形にする数え方を代表の生徒が実践し、クラス全員で紙幣を数える体験をしました。

部活など中学時代に頑張ったことを話し、「夢を目指していくと挫折や諦めもあります。楽しいことを見つけると夢は必ず見つかります。嫌だなと思うことでも少しでもやってみると、それをしたからこそ見えてくる道もあります」と伝えました。明るいクラスだったそうです。

**植木 大智さん**  
【株三井E&S】

**演題 線を描いてモノをつくる仕事**



港湾クレーンの設計をしている植木さん。会社や仕事内容を説明しました。クレーンの高さクイズでは、生徒たちはクレーンの大きさに驚いていました。実際に落下防止のフルハーネスを見せ、2個ついているフックを、1個だけかけた方が安全か、2個かけた方が安全か生徒に考えてもらいました。

生徒たちのリクエストで、先生がフルハーネス装備体験をしました。クレーンから落ちないという当たり前が一番大事だと説明しました。生徒の皆さんに「たくさん挑戦してください。先生や家族など身近な人の仕事に触れ、何をしているのか興味を持ちましょう」と伝えました。明るいクラスだったそうです。

**片原 由貴子さん**  
【株あすらん 一般社団法人あすらん】

**演題 なんで勉強せんといけんの？  
～起業したからこそわかったこと～**



小学生から大学生までの学びのサポートの運営をしている片原さん。何で勉強をしなければならないのかを説明していきました。5科目は「将来何に使うのか?」。5科目すべて使うときがくることを、ペットボトルのお茶を例に出して説明し、全ての教科が使われていることを話しました。

生徒の皆さんに「夢はたくさん持った方がいい。物はいろんな見方をしましょう。考えて動ける人になりましょう。大切なものを優先的にしましょう」と伝えました。

最後に、今日の講演を思い出してもらえるようにと手作りキーホルダーを生徒全員にプレゼント。キーホルダーをもらう順番は生徒たちが意見を出しあって決めました。

# 南大分中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月5日(火)

山下 育さん  
【国際NGO（海外事業管理）】



## 演題 世界とつながる仕事

アフリカや中東の国等のコミュニティの問題や課題を平和的に解決する事業展開をしている山下さん。母校での講演です。海外での活動について、ジブチという国をピックアップし、現地の方の暮らしやどんな問題があるか、問題はどのようにして起きるのか、問題をどのように平和的に解決し助けていくのか説明しました。現地の井戸の話をしながらか、日本のように水道水が飲めるのは豊かな国の証拠だということに生徒は関心を持っていました。

生徒の皆さんに「自分の好きなことを知り、見つけましょう。見つけたら頑張る。人生はその繰り返しで、自分探しの旅です」と伝えました。仕事をするうえで大切なことを話し、この仕事に必要な仕事道具は「英語」であり、英語の勉強法も説明しました。

小出 翔五さん  
【大分トヨタ自動車(株)】



## 演題 中学生の自分と今の自分

自動車整備士の小出さん。写真を使って会社や、自動車の故障を未然に防ぐ仕事内容の説明や整備士になるためにはどうすればよいか説明をしました。実際に使っている工具を初めて見た生徒たちは興味深く楽しそうに触っていました。

生徒の皆さんに「いろいろなことに興味を持って欲しい。調べていると、自ずとやりたいことが見えてきます。視野を広げてください」と伝えました。生徒たちは気になることをどんどん質問してくれたようで、楽しい講演だったそうです。



1年生9クラス。これからの勉強にも繋がるような講演でした。どのアドバイザーからも「明るいクラスでした」という感想がありました。

# 原川中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月7日(木)

**三重野 蒼汰さん**

【社会医療法人財団 天心堂へつぎ病院】



**演題 理学療法士の仕事とは**

外来患者などの理学療法士をしている三重野さん。母校での講演です。理学療法士とは自立した日常生活が送れるように支援する医学的リハビリテーションの専門職で、どのような仕事をしているのか説明をしました。クラス全員でストレッチをしたり、杖を使った歩行や足の筋力を計る検査を体験し、クラス全体が盛り上がりました。また、歩行器の使い方を実演しながら説明しました。仕事のやりがいは「患者さんが理想の生活を実現できたときです」と話しました。元気のいい生徒たちだったそうです。

**岩田 健太さん**

【一般社団法人 若葉会】



**演題 中学生に伝えたいこと**

児童指導員の岩田さん。自己紹介のなかで自分の学生時代の経験から「大学などの進路選択が将来の仕事などに大きく影響してくること」を話しました。仕事内容では、放課後等デイサービス、学童、フリースクール等の説明をしました。仕事をして年齢に関わらず人と話せるようになったことや、子供と関わる時は声のトーンに気をつけていると話しました。また、「ひらめきマップ」では「パン」から関連する言葉を連想して生徒に言ってもらい、ひとつの単語からのひらめきで頭を柔らかくする体験をしました。生徒の皆さんに「大人になって思うことは、国語をちゃんと勉強しておけばよかったこと、字をきれいに書く習慣をつけること、趣味や好きなことを探すことです」と伝えました。

**後藤 悠介さん**

【大分バス(株)】



**演題 バスの運転士になるためには**

営業所で総務をしている後藤さん。普段は運転士のサポートや事務の仕事をしていますが、「バスの運転士になるためにはどうしたらよいか、どういった免許が必要か」や「大分県内でバスの保有台数や行き先が1位であること」、「運転士の1日の流れ」、「新車で入ってくるバスはオートマチック車となっていること」などを説明しました。また、運転士やバスガイドの帽子を生徒に回覧すると、ほとんどの生徒が被り、盛り上がりました。自身の学生時代の挫折の経験を話し、生徒の皆さんに「諦めなければ結果は必ずついてくる。諦めたら終わり。今から出来ることをコツコツとやりましょう」と伝えました。講演後のお見送りの生徒が帽子を被って控室まで案内をしました。

# 原川中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月7日(木)

**橋本 愛さん**  
【医療法人社団 親和会 えとう内科病院】



## 演題 看護師という仕事について

入院患者の看護師をしている橋本さん。学生時代になりたかった職業や転職、看護師の業務の説明をしながら、頑張っていること、仕事の自慢などを話しました。生徒たちは聴診器を実際に耳にあて、自分やクラスメイトの肺や心臓の音を聞く体験をしました。

生徒の皆さんに「興味を持ったことを大事にすること」、「わからないことは質問し、解決すること」、「困ったときは周りの人に助けを求め、ひとりで抱え込まないこと」、「なりたい職業の選択肢が多くても焦らず考えてみる。その職業の話を積極的に聞いてみるのもひとつの手段です」と伝えました。にぎやかなクラスでたくさん質問が出たそうです。



1年生4クラス。明るい生徒たちで質問もたくさん出ました。最後はアドバイザー全員で集合写真を撮りました。

# 鶴崎中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月8日(金)

**秋田谷 和音さん**

【社会医療法人財団 天心堂へつぎ病院】

**演題 言語聴覚士ってなに??**



高齢者から子どもまで言語訓練をしている言語聴覚士の秋田谷さん。中学生の人気職業ランキングで言語聴覚士が第3位になったことを話し、仕事内容の説明をしました。生徒たちはペアワークで飲み込みの検査を体験。水でむせる人は、とろみをつけた水の方が飲みやすく安全なので、実際にとろみをつけた水を作り、飲んでみたいという生徒が試飲をしました。また、聴診器を実際に見せ、のどに当てて飲み込む音を聞くことも説明しました。生徒の皆さんに「自分の好きなこと、興味のあること、楽しいと思えることを将来の仕事にしてみたい」、「中学では友達と楽しく学生生活を送ってください」と伝えました。

**伊藤 輝さん**

【(株)熊野建設】

**演題 現場監督ってどんな仕事?**



建築の現場監督をしている伊藤さん。建設業や仕事の内容を工事写真を使いながら説明しました。工事写真は設計図通りに仕事が進んでいるか確認するためのものです。また、2級建築士問題をクイズにして生徒たちに考えてもらいました。そのほか、実際に使っている建築用メジャーで机の高さなどを計りました。初めての現場で感じたことは「分からないことばかり。建物に愛着がわきます。現場所長として社会に貢献したい」などで、「とにかくいろいろなことに挑戦してみてください。挑戦して分かることがあります。いろいろな知識を身につけてください」と伝えました。

**柳井 実奈さん**

【社会福祉法人 萌葱の郷】

**演題 福祉のお仕事ってどんなこと  
～楽しいこと、大変なこと**



児童の発達支援の指導員をしている柳井さん。「児童発達支援センターなかよしひろば」の紹介をし、どんな職員が働いているのか説明しました。子どもたちと遊びながらサポートをする仕事内容で、子どもたちを呼ぶ着席活動のための「コロコロボール野菜編」を動画で見てもらいました。子どもたちが色を覚えたり、色から連想するものを考える訓練にもなります。「自分が元気がないと、よい支援ができない」という自分自身の体験から、生徒の皆さんに「自分自身を大切に。ストレスを溜め込まないように」とメッセージを送りました。生徒たちは質問をたくさんしてくれたそうです。

# 鶴崎中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月8日(金)

## 板井 清成さん 【社会福祉法人 太陽の家】



### 演題 介護の仕事とは

障がいをお持ちの方の相談支援専門員をしている板井さん。人生において困っている方の相談対応や必要な福祉サービスのコーディネート役です。「太陽の家」の仕事内容を話し、福祉にはいろいろな仕事があることを説明しました。また、転職の経緯などを質疑応答を交えながら話しました。生徒の皆さんに「福祉の仕事で大事なことは、最後までしっかり相手の話を聞き、相手を受け入れ、否定しないことです」と伝えただけでなく、「中学生の今、皆さんにして欲しいことは、挨拶、早寝早起き、勉強、部活、お手伝い、宿題などたくさんありますが、一番は、ひとつひとつの出会いを大切にすることです。そして人生を楽しんでほしい」というメッセージを送りました。楽しい講演だったそうです。

## 藤田 悠斗さん 【(株)三井E&S】



### 演題 これから考えてみてほしいこと

クレーンの配線や配管ルート設計の図面作成、ケーブル等の注文書作成をしている藤田さん。会社の説明をし、地図を見せながら「大分工場の敷地はクジラみたいな形をしています」と紹介しました。会社を選んだきっかけは「大分で働きたい。設計業務がしたい。家が近い」ことだったと話しました。また、実際にクレーンに使うケーブルを生徒たちに回覧しました。生徒の皆さんに「好きなことや目標を見つけてほしい。何でも挑戦してほしい。『なぜ?』と思っしてほしい。自分自身の理解が深まります」と伝えました。質疑応答では盛り上がりを見せました。

## 玉垣 マリモさん 【一般社団法人 若葉会】



### 演題 人生を楽しむということ

言語聴覚士の玉垣さん。言語聴覚士がこういった機能回復訓練を行うのかなどを説明しました。生徒たちに「食べられなくなるとどうなるか?」を考えてもらい、答えてもらいました。ちゃんと食べられているのかの実演や、話せるようになるための訓練をグループワークで行いました。生徒たちは生きていくために大切な訓練を体験しました。生徒の皆さんに「これから進路を選択していくなかで、何が好きか、何が嫌いかなど、自分を分析し、自分を知ることが大切です」、「仕事の種類や内容を調べ、いろんな人に聞いてみましょう」と話しました。また、「夢を叶えるために必要なことは、知識とやる気です」と伝えました。

# 鶴崎中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月8日(金)

後藤 悠斗さん  
【大分ダイハツ販売株】



演題 “きっかけ”は日常の中に。

自動車整備士の後藤さん。自動車整備士は国家資格が必要で、車社会の安全を守るカー・ドクターであり、修理、定期点検、車検などの仕事内容のお話をしました。整備士を目指したきっかけは、日常の中にあり、「誰かのために何かをするのが好き。車を触るのが楽しそう。機械や構造に興味がある。モノを直すのが好き。地元大分に貢献したい」ことだったと話しました。生徒たちはグループワークでメカグルマの工作を行い、どの班が一番最初に作り終わるか、班員同士でお互いに助け合いながら競争をしました。

生徒の皆さんに「周囲の人から感謝される人になってほしい。感謝の言葉を言える人になってほしい」、「失敗を恐れずチャレンジしてほしい」と伝えました。

吉野 愛己さん  
【社会福祉法人 若草会 創生の里】



演題 訪問介護の仕事とは？

訪問介護ヘルパーとしてご自宅へ伺い、生活で困っているところをお手伝いしている吉野さん。黒板に具体的なお仕事の絵を貼って説明をしました。

生徒の皆さんに「自分の心の声を大切にしてほしい。小さな声を大事にすることで幸せを拾いやすくなります」、「嫌なことがあっても振り回されない心の土台作りをしましょう。嫌なことがあっても受け止め方で全然違います」、「優しい声を自分にもかけて、幸せな気分を作りましょう」と話しました。最後に生徒たちにドラえものの絵を描いてもらい「ドラえもんを知っているから描けます。知ったらツールが出来ます」と伝えました。



1年生8クラス。アドバイザーが2つのクラスで講演を行い、生徒たちは2人のアドバイザーの話を見ました。1年生という時期に、将来どのような仕事をしたいのか考えるきっかけ、ヒント作りにつながる講演となりました。元気で笑顔の多いクラスばかりでした。

# 王子中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月12日(火)

出口 菜津さん  
【みさと薬局】

## 演題 薬剤師の仕事について



薬局で薬剤師をしている出口さん。薬剤師の仕事を説明し、薬剤師の国家試験ではどんな問題が出るのか、実際の試験問題を紹介しました。薬剤師免許も実際に生徒たちに見てもらいました。薬剤師の仕事は、普段見えない仕事であるため、実際にどういう仕事をしているのか見てほしいということで、軟膏を練るデモンストレーションを行いました。何人かの生徒さんに前で実際に軟膏を練る体験をしてもらい、全員に間近で見てもらいました。生徒の皆さんに「いろんなことに興味を持てば、大人になっても興味を持つきっかけになり、職業選択につながります」と伝えました。

荒金 隆耀さん  
【大分信用金庫】

## 演題 後悔しない決断をするために



お客様に出向いて中小企業、個人を対象としたお金の相談業務をしている得意先係の荒金さん。「銀行へ行ったことがある人？」という問いにはほぼ全員の生徒が手をあげました。仕事内容等の説明の後、生徒たちはグループになり、模擬紙幣で紙幣の数え方を体験しました。生徒の皆さんに、自身の高校時代のエピソードを交えながら、「友達と一緒に勉強して、友達が頑張っているから自分も頑張れました。後悔しない決断をするために、両親や友達の意見を大切にしてください。受験や部活などで困ったときに相談すると助けてくれます」と伝えました。また、社会人になったときのために「メモを取る癖をつけた方がいいです」とアドバイスしました。

藤武 治輝さん  
【(株)オーイーシー】

## 演題 システムってどう作るの？ システムエンジニアの仕事とは？



システムの開発・運用をしているプログラマーの藤武さん。「ITとは?」、「システムをなぜ使うのか?」、「どうやってシステムを作り、実際どういうことをしているのか?」など、具体例を挙げて説明しました。生徒たちはプログラミング体験ゲーム『アルゴリズム1』をそれぞれタブレットで体験!生徒同士で教え合いながら楽しみました。生徒の皆さんに「システム開発に関わらず、仕事は誰かと協力しあって働きます。コミュニケーションが大切です。友達、先生など周りの人たちとのコミュニケーションを大切に、学生生活を楽しんでください」と伝えました。

# 王子中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月12日(火)

平原 駿太郎さん  
【J：COM大分ケーブルテレコム(株)】



## 演題 出会いの大切さ

代理店の営業をしている平原さん。J：COMの取り組みやケーブルテレビとはどんな会社かを説明しました。生徒たちに、お客様へ営業するための体験『ペン売ってみよう』をグループワークで行ってもらい、生徒たちから様々なアイデアや意見が生まれました。会社を選んだ理由は「地元大分のためになる仕事がしたい。大分の生活を豊かにしたり、ためになる情報を発信していきたい」ことだったと話しました。生徒の皆さんに「働くことはお客様、仕事に関わる人、会社の仲間など人とつながり、誰かに喜んでもらうこと。人との出会いを大切にしてほしい」と伝えました。

小野 英里佳さん  
【九州労働金庫】



## 演題 中学生に伝えたいこと

金融機関の窓口対応をしている小野さん。九州労働金庫は働く人のための金融機関であることや、質問を交えながら、仕事内容、やりがいなどを説明しました。「お客様相手の仕事なので、伝えたいことをわかりやすく丁寧に伝えていきます。接客は大変ですが、お客様との会話でコミュニケーション能力がつかえました」と話しました。物価高の話や投資の説明、お金の保管方法、偽札の見分け方の説明のほか、練習用の札束で、クラス全員で紙幣を数える体験も行いました。部活など中学時代に頑張ったことを話し、生徒の皆さんに「夢を目指していくと挫折や諦めることもあります。挑戦すると、経験という財産が手に入ります。今は自分の夢中になれるもの、自分のしたいことをしてみましょう。また、自分が嫌だなど思うことにも挑戦してみましょう」と伝えました。



模擬紙幣で紙幣を数えてみました



首のすわっていない赤ちゃん人形を抱っこしてみました



プログラミング体験ゲーム

1年生7クラス。その他、大分市保健所の保健師や裁判所書記官、調査官の講演もありました。

## 竹中中学校二豊学園分校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月13日(水)

神田 華奈さん

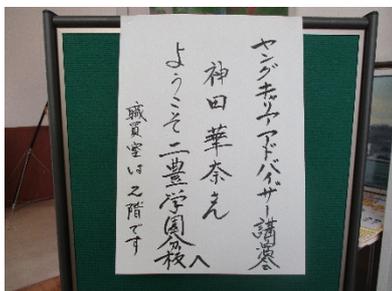
【(株)エフ・ジェイエンターテインメントワークス】

### 演題 パークプレイス大分の魅力をSNSを通して発信



パークプレイス大分のHP・SNS運用、イベント企画等をしている神田さん。「大分をもっと楽しく！」がスローガンのパークプレイス大分の店舗やイベントを紹介しました。イベントやキャンペーンを告知するSNSについて紹介。インスタグラムやLINE登録者を増やすためにどういうことに取り組んでいるかを説明しました。やりがいは「お客様から『楽しかったよ』、『ありがとう』と感謝の気持ちを伝えられたとき」。

生徒の皆さんに「自分の好きなことをすることは難しいなと思っても諦めず、本当にやりたいこと、興味のあることを見つけましょう。」「中学生の時にしか出来ないこと、今しか出来ないことを全力でやってほしいです。勉強、部活など後悔がないように全力で楽しんでください」と伝えました。生徒たちは興味深く講演を聞いていました。



1年生、2年生、3年生と全学年で講演を聞きました。最後に生徒たちが折り紙で作ったカラフルな手作りブーケをアドバイザーの神田さんにプレゼントしてくれました。

# 明野中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月15日(金)

**伊藤 輝さん**  
【株熊野建設】



## 演題 現場監督ってどんな仕事？

建築の現場監督をしている伊藤さん。建設業や仕事の内容等を工事写真を使いながら説明しました。工事写真は設計図通りに仕事が進んでいるのか、工事の進捗状況を確認するためのものです。また、2級建築士問題や現場用語をクイズにして生徒たちに考えてもらい、盛り上がりました。実際に使っている建築用メジャーで机の高さを計り、レジのカウンターなどの高さは法律で決まっていることを話しました。初めての現場で感じたことは「分からないことばかり。建物に愛着がわきます。現場所長として社会に貢献したい」などで、「とにかくいろんなことに挑戦してください。挑戦して分かることがあります。いろんな知識を身につけてください」と伝えました。生徒からの質問が多く、事前に職業を調べてくれていたことが伝わってきてうれしかったそうです。

**河野 幹久さん**  
【大分キャノン(株)】



## 演題 レンズができるまで

カメラの製造、レンズ加工、オペレーション作業をしている河野さん。キャノンに入社したきっかけは、「ものを作る仕事をしたかったので、キャノンの工場見学へ行き、興味を持ったことだった」と話しました。会社や仕事のやりがい、具体的な仕事内容、カメラの魅力、キャノンの製品にはどんなものがあるのか等を説明しました。実際に生徒たちにカメラのレンズとレンズを研磨しているものに触れてもらい、生徒たちは興味深そうに感触を確かめたりしていました。生徒の皆さんに「好奇心を持っていろんなことにチャレンジしてほしい」と伝えました。元気がよくて明るいクラスだったそうです。

**疋田 華さん**  
【大分県信用組合】



## 演題 銀行員の仕事について

金融機関の窓口業務をしている疋田さん。フリップを使って会社や金融機関の仕事について説明を行いました。一千万円の模擬紙幣を回覧しながら、『一千万円あったら何が買える？』というテーマで生徒たちに考えてもらい、お金の価値について説明しました。学生生活の経験を踏まえながら、生徒の皆さんに「仲間と協力することを大切にしましょう。働くことも、周りとの協力が大切になります」と話しました。また、「学生生活を楽しみ、勉強もしっかりすること。いろいろなことに興味を持って実際にやってみることが大切です」と伝えました。

# 明野中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月15日(金)

## 指原 諒平さん 【(株)三井E&S】



## 演題 コンテナクレーンにおける 品質保証とは？

港湾クレーンの品質保証業務をしている指原さん。身の回りにあるものはどこから運ばれてきているかクイズを出しながらスタート。「コンテナを運ぶクレーンを作り、世界中の海上輸送を支えています」と会社の説明をしました。また、「品質保証」とは、「製品やサービスが要求された品質を満たしていることを保証するための活動である」と説明しました。

仕事に必要なことは「失敗にめげず挑戦すること。目的を冷静に考えること。人の話をしっかり聞いて自分の意見をしっかり言うこと」であり、生徒たちに「まだ、みんなはプロ野球選手にだってなれる。目標を立て、達成するには何をすべきか考える。いろんな人とコミュニケーション（挨拶）をとってください」と伝え、それが「可能性を大きく広げ、社会貢献できる大切なお仕事につながっていくはずです」とメッセージを送りました。

## 紺田 丈平さん 【(株)トキハ】



## 演題 好きな自分で働こう!!

百貨店で婦人雑貨の販売員をしている紺田さん。自己紹介や東京の大学から大分に戻り就職した理由を話しました。やりがいは「お客様から感謝を伝えられること。言葉遣いや礼儀を学び、社会人として成長できること。ネットショッピングが流行っている中、直接的な接客でお客様をより身近に感じて仕事ができること」と話し、インスタライブで商品紹介をしていることや、物産展の魅力を語り、社員にしか分からない「百貨店の秘密」を話しました。生徒たちにやってほしいこととして、「挨拶・礼儀」、「将来なりたい自分をうっすら考える」、「提出期限は必ず守る」、「興味を持つこと。『なぜ?』と一度考える」、「友達を大切にする」、「ご飯をしっかり食べ、たくさん寝ることです」と伝えました。

## 伊藤 由華さん 【O.P.A薬局】



## 演題 薬を渡す以外の薬剤師のお仕事

薬局で調剤や服薬指導をしている薬剤師の伊藤さん。薬局で処方箋を出すまでの流れや、1日のスケジュール、薬の種類、大変さなどを話しました。薬剤師には、一般的なイメージである薬局で働くことだけでなく、製薬会社の研究員や学校薬剤師など、様々な職場でいろいろな働き方があることを説明しました。生徒たちに「カプセルの中身ってどんなの?」、「このお薬の1錠の値段は?」などのお薬クイズを出したり、薬の正しい飲み方などを話しました。また、「うがい薬にビタミンCを入れるとどうなるか?」などの実験を実際にピーカーを使って行いました。

生徒の皆さんに「ひとつの職種でも、いろんな働き方がある。自己分析し、いろいろな職業について調べる。いろんなことに興味をもってチャレンジしてください」と伝えました。

# 明野中学校 ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月15日(金)

河野 帆乃加さん  
【大分エル・エヌ・ジー(株)】

## 演題 人生明るく前向きに



労務の事務をしている河野さん。最初はクイズからスタート。生徒たちは質問しながら答えに辿り着いていきました。会社や仕事内容などを説明した後、「 $-196^{\circ}\text{C}$ の液体窒素に薔薇やソフトテニスボールを入れるとどうなるのか？」という実験を行いました。生徒たちは、ものが一瞬で凍る様子を間近で興味深く見守っていました。生徒の皆さんに「楽しいから笑顔になるのではなく、笑顔でいるから楽しくなる」、「明るくいろんな人に話しかけてチャレンジし、後悔することのないように何事もやってみる」、「マナーもひとつずつ身につける」、「嫌なことも続けているとやっておいでよかったと思えます」と伝えました。



液体窒素に薔薇を入れる実験です



カメラのレンズとレンズを研磨するものに直接触れてみました



お薬の実験をするビーカーを用意しています



1年生8クラス。どのクラスも明るく楽しい講演会になりました。学年集会で働く意義を考えたそうです。

## 坂ノ市中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月21日(木)

河野 しおりさん  
【株ヤノメガネ】



### 演題 メガネ屋の仕事について知ろう！

メガネの販売をしている河野さん。母校での講演です。メガネ屋さんの仕事内容や、メガネが出来るまでの流れを説明しました。自分自身の進路については、「自分にとって得意なことは何か」、「これだけは譲れないことはあるか」を考え、決めていきました」と話しました。生徒の皆さんに「何事もやってみることが大切。やらない後悔よりやった後悔。意外とどうにかなることの方が多いです。将来の進路選択に、いろいろなことを経験したことは役に立ちます」、「勉強はするに越したことはありません。将来の選択肢が増えます。また、職業によっては勉強が必要です」と生徒たちに伝えました。

指原 諒平さん  
【株三井E&S】



### 演題 コンテナクレーンにおける品質保証とは？

港湾クレーンの品質保証業務をしている指原さん。母校での講演です。身の回りにあるものはどこから運ばれてきているかクイズを出しながらスタート。コンテナを運ぶクレーンを作り、世界中の海上輸送を支えていると、会社の説明をしました。「品質保証」とは「製品やサービスが要求された品質を満たしていることを保証するための活動です」と説明し、コンテナクレーンの品質保証ではどういったことをするのかを話しました。仕事に必要なことは「失敗にめげず挑戦すること。目的を冷静に考えること。人の話をしっかり聞いて自分の意見をしっかり言うこと」であり、生徒たちに「中学生という時間は、勉強した分、練習した分、成長します。かけた時間の分だけ後悔しません」と伝えました。

得松 央さん  
【生活協同組合コープおおいた】



### 演題 COOPの広報活動・デザイン

内部広報誌の作成やHPのアイキャッチ作成、ラインアカウント運営等、広報業務をしている得松さん。COOPおおいたではどういった事業を行っているのか、宅配事業や店舗事業、生活サービスなどの説明をしたほか、仕事内容や1日のスケジュール、商品の紹介で地元のラジオ出演をしていることなどを話しました。“取材してみようクイズゲーム！「隣の人の好きな食べ物はなんだ？」”では、生徒たちがペアをつくり、直接食べ物の名前を聞くことは禁止というルールのもと、相手への質問は5回までとして、相手の好きな食べ物を当てるペアワークを行いました。生徒たちはクイズを楽しみつつ、コミュニケーションの難しさを体験しました。生徒の皆さんに「挑戦、経験を通して表現力、語彙力を磨けば世界が広がります」と伝えました。

# 坂ノ市中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月21日(木)

## 松本 梨世さん 【生石保育所】



### 演題 保育士の仕事ってどんなこと？

保育士の松本さん。母校での講演です。始めにみんなで「とんとんアンパンマン」の手遊びからスタート。「保育士のイメージってどんなの？」と、生徒たちに思いつくまま考えてもらい、紙に書きだしてもらいました。「保育士の仕事ってどんなこと？」では、保育士の仕事内容や、0歳から2歳、3歳から5歳のクラスの1日のデイリー業務を説明しました。また、保育園児が手作りした実際の作品の紹介をしました。保育士になるまでの過程を話し、生徒たちに「今日の話聞いて少しでも保育士について知ってもらえたり、興味をもってもらえたら、うれしいです。私もまた明日からいろんなことに子どもたちと全力で挑戦して、楽しんでいきます」と伝えました。

## 佐藤 隼さん 【大分県信用組合】



### 演題 金融機関の仕事について

融資の相談、受付をしている佐藤さん。金融機関の仕事内容やその仕組み、お金の流れをフリップで説明し、「人と話さないと出来ない仕事です。分からないこともまだまだ多いですが、頑張っています」と話しました。一千万円分の模擬紙幣を回覧すると、生徒たちはその重さを確認していました。また、「お金を借りる人はどんな人がいるか？」を考えてもらい、生徒たちに発表してもらおうと、様々な答えが返ってきました。生徒の皆さんに「いろんな仕事があることを知ってほしい。身近なところで両親の仕事聞いてみてください」と話し、「今を大事にしてほしい」と伝えました。

## 岡崎 直弥さん 【株三井E&S】



### 演題 港ではたらく巨大クレーンを作る

港湾クレーンの設計をしている岡崎さん。動画「港で働く巨大クレーンを作る」で会社を紹介しました。クレーンを設計する人の仕事内容やクレーンの役割などを話しました。「数字で見るコンテナクレーン」と題して、クレーンの高さなどを、クイズを出しながら説明しました。生徒たちは、クレーンの高さや重さ、値段を聞いて驚いていました。生徒の皆さんに「仕事に必要なことは、課題を見つけ解決しようとする、仲間と協力してより大きな結果を出そうとすることです」と話しました。また、「夢中になれること、本当にやりたいことを見つけよう。今日の講演を働くことを考えるきっかけにしてください」と伝えました。

# 坂ノ市中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月21日(木)

小岩 裕翔さん  
【大分キヤノン(株)】



演題 **仕事を通じて学んだ  
“毎日を充実させるための考え方”**

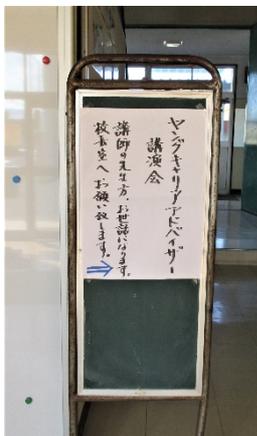
新製品の立ち上げや図面設計、品質管理を担当する製造技術職の小岩さん。会社や仕事内容の説明、製造しているカメラ製品の紹介を行いました。仕事のやりがいは「立ち上げた新しいレンズをお店や広告で見ること。自分のアイデアがみんなの仕事に活かされること。頑張った分だけ会社が評価してくれて、周りからも信頼されることです」と話しました。また、生徒全員が実際に一眼レフカメラの撮り方などを習い、シャッターを切る体験をしました。  
「毎日を充実したい思考の人は、自分の可能性を發揮し、自分の責任として捉え、相手を助け、前向きに考えています」と話しました。それではどうしたらそのような人になれるのか、生徒の皆さんに「毎日を充実させるには“何が必要か?”、“自分の夢は何か?”を一度書き出してみてください」と伝えました。

岩尾 涼祐さん  
【大分市中央消防署】



演題 **消防の仕事とは**

特殊災害消防隊の岩尾さん。母校での講演です。消火活動での消火隊の仕事内容や、救急活動、救助活動を例を挙げながら説明しました。生徒たちに「人を助ける仕事ですが、まずは自分の命を守ること」と伝えました。消防士になるための試験の内容や、女性消防士が増えていることなどを説明しました。防火衣は腰部の位置が高かったり、袖が長かったりと、体を守る仕様で、ポンベを含めると総重量は約20kgにもなります。代表の生徒が実際に着用体験をしました。  
生徒の皆さんに「挑戦と失敗をいっぱいしてください。1日1日を大切に。家族、友達を大切にしましょう」、「社会に出たときに大事なことは、初心を忘れないこと。どうしてこの仕事に就いたのか覚えておくことです」と伝えました。



一眼レフカメラでの撮影体験です



防火衣の着用体験です

1年生8クラス。冬休みに身近な人に職業インタビューをするそうです。

# 上野ヶ丘中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月22日(金)

出口 菜津さん  
【みさと薬局】



## 演題 薬剤師の仕事について

薬局で薬剤師をしている出口さん。薬剤師の仕事の説明し、薬剤師の国家試験ではどんな問題がでるのか、実際の試験問題を紹介しました。薬剤師免許も実際に生徒たちに見てもらいました。また、同じタイミングで飲む薬を機械でひとつの袋に包んでいく作業を動画で紹介しました。軟膏を練るデモンストレーションでは、何人かの生徒さんに前で実際に軟膏を練る体験をしてもらい、全員に間近で見てもらいました。生徒の皆さんに「日々進歩していく病気の治療に薬という目線から患者さんの役に立つことは非常に面白く、やりがいのある仕事です。薬剤師という仕事を少しでも知ってもらえると嬉しいです」と伝えました。

芝村 陣さん  
【株豊後企画集団】



## 演題 後悔のない選択を

お客様のお部屋探しのお手伝いや不動産仲介をしている芝村さん。自己紹介や仕事の1日のスケジュールを説明しました。会社のCM動画を流した後、お部屋ラボに関するクイズを出していきました。大分を盛り上げる取り組みとして実現した物件として、「猫(ねこ)」(ペット)付き物件の紹介などをしました。自分自身の中学時代の体験から「今はこれから先のことを考えていない人が多いと思いますが、高校、大学など道が分かれていきます。後悔しないために自分がやりたいと思ったことをしてください。自分で決めることが大切です」と伝えました。

南 雄大さん  
【大分市商工労政課】



## 演題 公務員とサラリーマン両方経験した今、私が伝えたいこと

計量器の検査や事務作業をしている南さん。民間企業時代の会社や仕事内容などの説明のほか、転職した公務員とはどういう職業なのか、市役所の仕事内容などをクイズを出しながら説明していきました。生徒の皆さんに「将来の夢や、やりたいことが決まっている人は夢の実現に向けて頑張ってください。叶わなくても頑張った過程でやりたいことが見つかっていきます。将来の夢や、やりたいことがまだ決まっていない人は、今は全く問題ありません。仕事は多数あります。いつかやりたいことが見つかります。就職活動をする前に真剣に考えてみましょう」と伝えました。

# 上野ヶ丘中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月22日(金)

牛木 亮太さん  
【ENEOS(株)】

演題 **ENEOSの仕事**  
**～あたり前の生活を支えるということ～**



工場製油所の在庫管理をしている牛木さん。ガソリン、軽油など石油製品を作る工場で働いています。学生時代のことやENEOSとはどんな会社か、入社のきっかけ、仕事内容、1日のスケジュールなどを説明し、「実際に働いてみて、思っていた以上に自分の会社は社会を支えている」と実感したそうです。また、「一人では仕事はできません。周りの人とのコミュニケーション・協力が必要です」、「いくつもの会社・仕事が私たちの日常生活を支えています」と話しました。生徒の皆さんに「今の時点で明確な目標があれば、諦める理由はないです。どんな思いがあってその夢を追いきたいのか、挫折しそうになったら初心を思い出しましょう。今日の前のことを全力で取り組むと将来のためになります」、「ちゃんと勉強して、ちゃんと部活をして、興味がある方は是非ENEOSに入社してください」と伝えました。

後藤 羅来さん  
【社会医療法人 敬和会  
介護老人保健施設 大分豊寿苑】

演題 **介護福祉士について**



介護福祉士の後藤さん。国家資格を取得するためのルートを説明したり、具体的に高齢者をどのように介護するのか、排泄介助、口腔ケア、入浴介助などを映像で紹介しながら、やり方や目的を説明しました。また、生徒たちは〇×クイズで認知症の症状やストレス解消の方法を学びました。今後、介護ロボットの導入が進んでいけば、職場でのいわゆる「3K」がなくなっていくのではという話もありました。生徒の皆さんに「子どもの頃からお年寄りが好きだったことが仕事を選ぶきっかけとなったこと」や、「仕事のやりがい、介護された方からの感謝の言葉です」と話しました。また、「小中学生の頃に勉強をすると、将来、認知症になりにくくなること」、「作り笑いをするだけでも免疫力が上がる効果があります」と伝えました。

藤田 悠斗さん  
【(株)三井E&S】

演題 **これから考えてみてほしいこと**



クレーンの配線や配管ルート設計の図面作成、ケーブル等の注文書作成をしている藤田さん。会社の説明をし、「お客様に合った製品を設計する人のお仕事は?」、「クレーンを作るのに必要な人たちは?」、「具体的に何をしているの?」と話を進めていきました。「クレーンのケーブル(電線)について考え、様々なケーブルの中から必要なものを購入しています」と話し、何種類かのケーブルを実際に生徒たちに回覧し、見て触ってもらいました。生徒の皆さんに「自分の好きなこと、やりたいことや目標をこれから考えてみてほしい。勉強や趣味、コミュニケーションをとるなど、何でも挑戦してみてください。『なぜ?』って、思っしてほしいです」と伝えました。

1年生6クラス。どのクラスも真剣に耳を傾け、質問も多く出ました。2年生では職業について調べるそうです。

# 竹中中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月25日(月)

板井 晴輝さん  
【社会福祉法人 新友会 ひまわり園】

演題 **福祉の仕事とは**



障がいを持った方の生活支援員をしている板井さん。障がい福祉を中心に福祉の仕事の説明をし、一日の仕事の流れや、実際にどういったことをしているのか、利用者さんにはどういった方がいるのかなどを詳しく説明していきました。介助や援助をするうえで「“どうして?”ということを通して理解し、そこから考えることが重要です」と話しました。

中学生の内にやって欲しいことは「感性を豊かにすることです。どんな些細なことでもよいので、例えば本を読んだり、絵を描いたり、スポーツや勉強に熱中する。福祉の世界でも感性は重要な力です。感性が豊かじゃないと、相手のことに共感や理解ができない人になってしまいます。福祉の世界では感性があるかないかが、いい支援ができるかどうかの分かれ目になります」と伝えました。

生徒の皆さんに「忙しかったり辛いことがあると自分を見失ってしまいそうになります。仕事を決めるうえで大切なことは、自分を見失わないことができるかどうかです。そして、相手に感謝ができるかどうかも大切です。自分で考える力も重要ですが、悩みや自分の気持ちを話せる人が周りにいるかどうかも大切になります。『ありがとう』を言える人になりましょう」とメッセージを送りました。

1年生1クラス。講演をこれからの仕事選びの参考にしながら聞きました。

# 大在中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月28日(木)

## 伊藤 輝さん 【(株)熊野建設】



### 演題 現場監督ってどんな仕事？

建築の現場監督をしている伊藤さん。母校での講演です。黒板には「伊藤輝先輩」と書かれていました。「小さい頃から線を描くのが好きだったことがきっかけで、今の職業に繋がりました」と話しました。建設業や仕事の内容等を工事写真を使いながら説明。工事写真は設計図通りに仕事が進んでいるのか、工事の進捗状況を確認したり、見えない部分の証拠写真として残すためのものです。また、2級建築士問題や現場用語をクイズにして、生徒たちに考えてもらいました。実際に使っている建築用メジャーで机の高さなどを計り、レジカウンターなどの高さは法律で決まっていることを話しました。初めての現場で感じたことは「分からないことばかり。建物に愛着がわきます。現場所長として社会に貢献したい」などで、仕事をしながら資格取得の勉強をしているそうです。生徒の皆さんに「とにかくいろいろなことに挑戦してください」と伝えました。

## 小岩 裕翔さん 【大分キャノン(株)】



### 演題 仕事を通じて学んだ “毎日充実させるための考え方”

新製品の立ち上げや図面設計、品質管理を担当する製造技術職の小岩さん。会社や仕事内容の説明のほか、製造しているカメラ製品、特に初心者におすすめのカメラ製品の紹介を行いました。仕事のやりがい「立ち上げた新しいレンズをお店や広告で見ること。自分のアイデアがみんなの仕事に活かされること。頑張った分だけ会社が評価してくれて、周りからも信頼されることです」と話しました。また、生徒全員が実際に一眼レフカメラの持ち方や撮り方を学び、シャッターを切る体験をしました。「毎日充実したい思考の人は、“責任を持つ”、“面倒でも逃げない”、“とりあえずチャレンジ! ”、そうするといろいろできて、自信がアップし、周りから信頼されます。その結果、多くの充実を経験できます」と伝えたほか、それではどうしたらよいか、具体的なアドバイスがありました。

## 秋田谷 和音さん 【社会医療法人財団 天心堂へつぎ病院】



### 演題 言語聴覚士ってなに??

高齢者から子どもまで言語訓練をしている言語聴覚士の秋田谷さん。中学生の人気職業ランキングで言語聴覚士が第3位であり、「話す・聞く・食べる」のスペシャリストだと話しました。リハビリなどの仕事内容の説明をした後、生徒たちにペアワークで飲み込み能力を測定する反復唾液嚥下テストを体験してもらいました。水でむせる人は、とろみをつけた水の方が飲みやすく安全なので、実際にとろみをつけた水を作り、飲んでみたいという生徒が試飲をしました。生徒の皆さんに「自分の好きなこと、興味のあること、楽しいと思えることを将来の仕事にしてみたい」、「中学では友達と楽しく学生生活を送ってください」と伝えました。生徒たちはしっかりと講演を聞いてくれたそうです。

# 大在中学校 ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月28日(木)

**得松 央さん**  
【生活協同組合コープおおいた】



**演題 COOPの広報活動・デザイン**

内部広報誌の作成、HPのアイキャッチ作成、ラインアカウント運営等、広報をしている得松さん。母校での講演です。ユニークな自己紹介、仕事に就いたきっかけ、COOPおおいたとは何をやっているのか、宅配事業、店舗事業、生活サービスの説明をし、仕事内容、1日のスケジュールや、商品の紹介で定期的にラジオ出演をしていることなどを話しました。“取材してみようクイズゲーム！「隣の人の好きな食べ物はなんだ？」”では、生徒たちがペアをつくり、直接食べ物の名前を聞くことは禁止というルールのもと、相手への質問は5回までとして、相手の好きな食べ物を当てるペアワークを行い、コミュニケーションの難しさを体験しました。生徒たちに「挑戦、経験を通して表現力、語彙力を磨けば世界が広がります」と伝えました。たくさん質問をしてくれて熱心に聞いてくれたそうです。

**河野 しおりさん**  
【株ヤノメガネ】



**演題 メガネ屋の仕事について知ろう！**

メガネの販売をしている河野さん。自己紹介、メガネ屋さんの仕事や、メガネが出来るまでの流れ、メガネについて知ろう、と話を進め、「自分も目が悪いのでお客様の目線で考えています」と話しました。自分自身の進路について「自分にとって得意なことは何か、これだけは譲れないことはあるか」を考え、決めていったと説明をしました。生徒の皆さんに「何事もやってみることが大切。やらない後悔よりやった後悔。意外とどうにかなることの方が多い。将来の進路選択にいろいろなことを経験したことが役に立ちます」、「勉強はするに越したことはありません。選択肢が増えます。また、職業によっては勉強が必要になります。入社しても技術的なことを覚えたり、勉強が続きます」と生徒たちに伝えました。

**藤田 悠斗さん**  
【株三井E&S】



**演題 これから考えてみてほしいこと**

クレーンの配線や配管ルート設計の図面作成、ケーブル等の注文書作成をしている藤田さん。「コンテナを運ぶクレーンを作り世界中でたくさんのモノを動かしています」と会社の説明や、目玉商品を紹介しました。“お客様にあった製品を設計する人のお仕事は？”、“クレーンを作るのに必要な人たちは？”、“具体的に何をしているの？”と話を進め、「クレーンのケーブル（電線）について考えてます。様々なケーブルの中から必要なものを購入しています」ということで、何種類かのケーブルを実際に生徒たちに回覧し、見て触ってもらいました。生徒の皆さんに「自分の好きなこと、やりたいことや目標をこれから考えてみてほしい。勉強、趣味、コミュニケーションなど何でも挑戦してみてください。『なぜ？』って、思っただけです」と伝えました。黒板には生徒たちが三井E&Sのロゴを書いてくれました。

# 大在中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月28日(木)

## 大橋 尚弥さん 【大分東警察署】



### 演題 警察官になってよかったこと

地域の警察官をしている大橋さん。警察官の仕事や組織の説明を行い、実物の防刃衣や警棒、手錠を見てもらいました。グループワークでは生徒たちが鑑識を体験。紙に手を押し当て、黒い粉をつけると手形が浮かび上がりました。生徒たちは不思議そうに驚きながら、楽しく鑑識体験をしました。

仕事について「親戚が白バイ隊員であこがれたのがきっかけです。話を聞いておもしろそうだなと思いました。よかったことは、事件が解決して感謝の言葉を言われたときです」、「警察は嫌われがちの仕事ですが、感謝される仕事です。みんなが今学んでいる勉強をすれば警察官になれます。これを機会に興味を持ってもらって、この中から警察官になる人を待っています」と伝えました。

## 河野 幹久さん 【大分キヤノン(株)】



### 演題 レンズができるまで

カメラの製造、レンズ加工、オペレーション作業をしている河野さん。大分キヤノンについて紹介し、キヤノンの製品にはどんなものがあるのか、カメラが完成するまでの流れ等を説明をしました。実際にカメラのレンズとレンズを研磨しているものを回覧し、生徒たちに触れてもらいました。生徒たちは興味深そうに感触を確かめていました。仕事のやりがいは「自分のアイデアや意見で仕事が改善されたとき、スキルアップを実感したとき、ユーザーが使ってくれてたり、ネットやお店で製品を見たときです」と話しました。

生徒の皆さんに「周りの友達とのつながりを大切に、今いる友達を大切にしてください。これから大人になってもつながっていきます」と伝えました。

## 岩尾 涼祐さん 【大分市中央消防署】



### 演題 消防の仕事とは

特殊災害消防隊の岩尾さん。消火活動での消火隊の仕事内容や、救急活動、救助活動を例をあげながら説明をしました。生徒たちに「人を助ける仕事ですが、まずは自分の命を守ることに」と伝えました。現場を支えるいろいろな業務、特殊災害（NBC災害）とは何か、消防士になるための試験の内容や消防学校時代、仕事の勤務シフトなどの話をしました。防火衣はポンベや安全靴を含めると総重量は約20kgもあり、この状態でトレーニングを行うと話しました。代表の生徒が実際に防火衣の着用体験を行い、盛り上がりました。

生徒の皆さんに「挑戦と失敗をいっぱいしてください。1日1日を大切にしましょう。家族、友達を大切にしましょう」、「しっかり目標を持ってください。勉強はしておいた方がいいです」と伝えました。

1年生9クラス。生徒たちは小さい世界を広げ新しい発見があったようです。

# 植田東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

令和6年12月10日(火)

戸高 那奈美さん

【社会医療法人財団 天心堂 へつぎ病院】



## 演題 作業療法士って素晴らしい仕事

作業療法士の戸高さん。母校での講演です。病院に入院している患者さんがリハビリによって体の機能を回復し、日常生活に戻れるようにお手伝いをしています。作業療法士の仕事に就くまでの道のりや、資格を取得するまでの話をしました。「食事や入浴など、日常生活に関わる全ての諸作業を“作業”と呼んでいます。作業はあなたと社会をつなぐ“接点”。その人らしい生活を、“作業”を通じて作っていきます」と説明しました。グループワークでは『右半身が麻痺している高齢者の方がご飯をおいしく食べるにはどうしたらよいか?』というテーマで生徒たちが話し合い、発表を行いました。生徒たちに介護用のお箸、お皿などを回覧し、触れてもらいました。生徒の皆さんに「たくさん悩んで周りの人に相談し、悔いのないように今を楽しむこと。人生は一回きりです」と伝えました。

山下 育さん

【国際NGO (海外事業管理)】



## 演題 世界とつながる仕事

アフリカや中東の国等のコミュニティの問題や課題を平和的に解決する事業展開をしている山下さん。大学時代に「自分の国に住めなくなった人達(難民)を助けるには? 平和ってどうやって作り出すのか?」と考えたことがきっかけになりました。海外での活動について、ジブチという国をピックアップし、現地の方の暮らしやどんな問題があるか、問題をどのように平和的に解決し助けていくのか説明しました。今は主に大分でパソコンで海外とやり取りをし、リモートワークをしているそうです。大切なことは「一緒に働く人への尊敬と思いやりの気持ち。なりたいたい自分をイメージする。どういうチームを作りたいか考える。そのために必要な仕事道具が“英語”です」と伝え、生徒たちに英語の勉強法を説明しました。また、「やりがいは仕事を通して、その国に良いことがあったり、変化を感じられたときです」と話しました。

玉垣 マリモさん

【一般社団法人 若葉会】



## 演題 人生を楽しむということ

言語聴覚士の玉垣さん。言語聴覚士がこういった機能回復訓練を行うのかなどを説明しました。生徒たちに「食べれなくなるとどうなるか?」を考えてもらい、答えてもらいました。飲み込む筋力があるか、反復嚥下テストの体験や「野菜、果物をたくさん思い出して言ってみよう」では、30秒間に何個言うことができるのか、話せるようになるための訓練をグループワークで行いました。生徒たちは生きていくために大切な訓練を体験しました。生徒の皆さんに「これから進路を選択していく中で、何が好きか、何が嫌いかなど、自分を分析し、自分を知ることが大切です。仕事の種類や内容を調べ、いろんな人に聞いてみましょう」と伝えました。活発なクラスで質問がたくさん出たそうです。

# 植田東中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

令和6年12月10日(火)

柴田 泰地さん

【社会福祉法人 龍和会  
特別養護老人ホーム 寿志の里】

## 演題 高齢者施設について知っていますか？



高齢者施設で介護福祉士をしている柴田さん。介護福祉士資格取得の話をしました。介護福祉士を目指したきっかけは、「中学生の頃、祖父が入院していたとき、お世話をしていた職員の方が素敵だなと思ったこと」だったそうです。「介護福祉士の主な仕事は食事介助、入浴、排泄です」と話し、グループホームの一日や入居者の方の様子、レクリエーション、季節の行事などを写真で紹介しました。また、高校生のように自分が先生に言われたことを生徒たちに伝えました。

生徒の皆さんに「素直に挨拶をする。素直に『ごめんなさい』や『ありがとうございます』を言える、素直な心が大切」と話したほか、「中学のときは勉強が大嫌いでしたが、社会に出ると中学のときに勉強すればよかったと思います。中学時代は戻ってきません。まず自分の好きな科目から勉強をする、ゲームをして知らない言葉があったら調べてみる。中学生の時間を大事にして、嫌いなことにも挑戦してみてください」、「人との繋がりを大切にたくさん会話してください。どんな職業でも人とのコミュニケーションが大切です。覚えておいてください」と伝えました。



握力が弱い方などが  
使いやすい介護箸を  
試用してみました



講演後、代表の生徒が  
教室から控室まで  
アドバイザーをお見送り  
します



裁判所の仕事

1年生5クラス。この他、大分地方裁判所書記官と大分家庭裁判所調査官の講演がありました。質問をするときは自分の名前を名乗ってから質問をしました。目に見える職業しか知らない生徒たちにとってアドバイザーの職業が参考になったようです。黒板にはかわいいイラストが描いてありました。

# 判田中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年12月13日(金)

柳井 実奈さん

【社会福祉法人 萌葱の郷】



**演題** 福祉のお仕事ってどんなこと  
～楽しいこと、大変なこと

児童の発達支援の指導員をしている柳井さん。仕事のタイムスケジュールや、子供たちのタイムスケジュール、子供たちと一緒にする“色水遊び”や“秋さがし”など、子どもたちと遊びながらサポートをする活動内容を紹介しました。子どもを呼ぶ着席活動のための「コロコロボール野菜編」を動画で見てもらいました。着席活動に加え、色を覚えたり、色から連想するものを考える訓練にもなります。

楽しいこと、大切にしていることは「日々発見、子供たちの笑顔、支援方法に正解がないこと、自分も楽しむことです」と話しました。「自分が元気がないと、よい支援ができない」という自分自身の体験から、生徒の皆さんに「自分自身を大切に」とメッセージを送りました。

後庵 盛寿さん

【株三井E&S】



**演題** 将来に向けてできること

港湾クレーンの電装設計をしている後庵さん。自己紹介の後、クイズを出しながら海上物流や海上輸送、貿易などについて話し、「世界の人々の豊かな生活は、貿易によって支えられています」と話しました。会社の職種にはお客様に価値を提供するための多種多様な役割の部署があることを説明。生徒たちに「お客さんが求めている商品・サービスは何だろう？」と考えてもらいました。

「会社はコンテナを運ぶクレーンを作っていますが、自動化クレーンと環境対応型クレーン（世界初の水素で動く）のふたつに力を入れています」と説明したほか、数週間後にベトナムやマレーシアへ、クレーンの輸出のため出張に行く予定であることを話しました。生徒の皆さんに「この仕事はコミュニケーション能力や英語が出来た方がいいです。勉強することで選択肢が広がります。目指すものや現実の問題のために勉強をする。将来のことを頭の隅に考えている方がいいです」と伝えました。

玉垣 マリモさん

【一般社団法人 若葉会】



**演題** 人生を楽しむということ

言語聴覚士の玉垣さん。言語聴覚士がこういった機能回復訓練を行うのかなどを説明しました。生徒たちに「食べれなくなるとどうなるか？」を考えてもらい、答えてもらいました。ちゃんと食べれているのか、30秒間に何回唾液を飲み込むことができるかの実演をしました。

「野菜、果物をたくさん思い出して言ってみよう」では30秒間に何個言うことができるのか、話せるようになるための訓練をグループワークで行いました。生徒の皆さんに「これから進路を選択していく中で、何が好きか、何が嫌いかなど、自分を分析し、自分を知ることが大切です。仕事の種類や内容を調べ、いろんな人に聞いてみましょう」、「夢を叶えるのに必要なことは、知識とやる気です」と伝えました。

# 判田中学校 ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年12月13日(金)

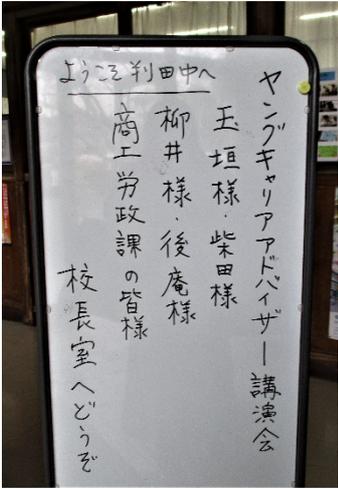
**柴田 泰地さん**  
【社会福祉法人 龍和会  
特別養護老人ホーム 寿志の里】

## 演題 高齢者施設について知っていますか？

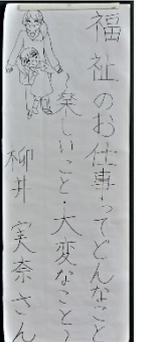
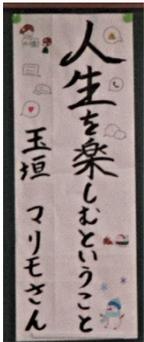


高齢者施設で介護福祉士をしている柴田さん。介護福祉士資格取得の話をしました。「グループホームとは、認知症であっても自分で出来ることは自分でやってもらう。出来ない所を職員が支えながら団体生活を送る場所」と説明しました。「介護福祉士の主な仕事は食事介助、入浴、排泄です」と話し、グループホームの一日や入居者の様子、レクリエーション、季節の行事などを写真で紹介しました。また、食事のとりみ剤の使用量についても詳しく説明しました。

生徒の皆さんに「素直に挨拶をする。素直に『ごめんなさい』や『ありがとうございます』を言える、素直な心が大切です」、「中学のときは勉強が大嫌いでしたが、社会に出てみると中学のときに勉強すればよかったと思います。中学時代は戻ってきません。まず自分の好きな科目から勉強をする。中学生の時間を大事にして嫌いなことも試してみてください。」、「人の繋がりを大切にたくさん会話してください。どんな職業でも人とのコミュニケーションが大事です。覚えておいてください」と伝えました。



控室にクラスの代表がアドバイザーをお迎えに来てクラスまで案内します



手書きの演題

1年生4クラス。素朴で素直な生徒たちでした。演題は個性あるイラストが描かれていました。